

# 国際政治

200

## オルタナティブの模索

—問い直す国際政治学—

日本国際政治学会編

序文 オルタナティブの模索

日本の「架け橋外交」戦略の戦前と戦後 武田 知己

アフリカ研究者の紛争研究 武内 進一

国際関係理論はどこまで普遍性を有するのか 堀内 めぐみ

戦後日本の現実主義を再考する 張 帆

ドイツ統一交渉と冷戦後欧州安全保障秩序の端緒 板橋 拓己

日ソ国交回復交渉の再検討 岡田 美保

日本の国際関係研究における「固有の課題」と「共有の方法」 芝崎 厚士

<複雑適応系>国際政治学の可能性 光辻 克馬  
山影 進

国際政治における国際裁判所 内記 香子

環境と資源問題をめぐる国際政治と日本 太田 宏

---

<書評>

井関正久著

『戦後ドイツの抗議運動』 五野井 郁夫

三須拓也著

『コンゴ動乱と国際連合の危機』 篠田 英朗

2020年3月刊